

ワケあり伊豆半島⑩

断層が造った大地を歩く

～北伊豆地震の痕跡と丹那断層の地形～

丹那断層は丹那盆地を縦断し、南北に伸びています。

北上を続けるフィリピン海プレートによって、数十万年もの時間をかけて形成された地形です。

かつては、豊富な湧水に恵まれ、稲作、わさび栽培がさかんに行われていました。

しかし、真下を通る東海道本線丹那トンネルの工事によって、大量の地下水が抜けてしまい、盆地での農業や生活に必要な水が枯れてしまいました。

そんな丹那地域を、1930年(昭和5年)11月26日に発生した北伊豆地震(震度7)の痕跡を間近に見るとともに、水不足の逆境を乗り越え、酪農王国を立ち上げた人々の歴史を学びながら歩きます。



丹那断層は、断層をはさんだ反対側が左方向にずれる「左横ずれ」というタイプの断層。

AとBの川はもともとつながっていましたが、丹那断層によって南北に約1kmも食い違っていました!

(2016年4月発生 of 熊本地震は右横ずれ断層型でした)



地図データ(赤色立体地図)提供: 国土交通省中部地方整備局沼津河川国道事務所



1 酪農王国オラッチェ

トンネル工事で湧水に見舞われた一部の農家は補償金を基に酪農に転換しました。おいしい丹那牛乳を使ったバター、アイスクリームづくりや、ノルディックウォーキングも体験できます。



2 八嶋手神社

八嶋土奴美命(やしまじぬみのかみ)を祀る神社の境内には、湯河原火山(今の十国峠付近)からの転石が白蛇石や亀石として祀られています。珍しい道祖神を探してみよう。



3 丹那断層公園

約2mの横ずれが地表で観察できるユニークな場所。観察室では地下の様子を見ることができます。



4 長光寺

曹洞宗のお寺。芸術家でもある住職と、猫たちに会うことができるかも。隣には現代書の石碑十数基を集めた昭和書碑林があるので、読めるか挑戦しよう。



5 断層地形の観察

丹那盆地はのどかな田園地帯。盆地の真中で南北の稜線を見ると、数十万年かけて上下に約100mずれて尾根筋をずらしている様子が読み取れます。



6 火雷神社

北伊豆地震で石段と鳥居の間に1.4mほどの横ずれが生じました。地域の人々は災害を語り継ぐために、破損した鳥居と石段をそのまま残しました。



7 神代杉展示場

田代盆地の畑の下から掘り出された、きれいで不思議な形の神代杉。今でも地下の堆積層に埋まっています。



8 十国峠

標高765mの伊豆有数のビュースポットで、富士山、南アルプスのパノラマが広がります。信濃、武蔵、安房など十の国を望めることが名前の由来です。伊豆と本州の衝突後も、プレートの動きは伊豆の大地を本州に押し続けており、この作用を受けて南アルプスが隆起を続けています。

モデルコース

ぐるっと丹那盆地コース

約4km/徒歩で2時間30分

- 1 オラッチェ → 2 八嶋手神社
- 水道橋 → 3 丹那断層公園
- 4 長光寺 → 皇産霊神社
- 5 断層地形の観察 → 1 オラッチェ

函南駅・熱海駅・大場駅よりオラッチェまでタクシー約20分

丹那断層ノルディックウォーキング

約8km/5時間

- 1 オラッチェ → ため池
- 軽井沢宿 → 田代の集落
- 田代盆地 → 6 火雷神社
- 分断された谷A地点
- 軽井沢・断層 → 7 神代杉展示場
- オラッチェ

ガイドのオススメ



丹那のそば屋「亮月」(函南町丹那1196-6) Aは栽培から製麺まで自家製産にこだわっているお店。



「マリー」(函南町畑374-63) Bは富士山の眺望が抜群。女性に人気。



～こぼなし～

丹那トンネルがいかに難工事だったかは、吉村昭著の小説「闇を裂く道」に生き生きと記されています。

注意事項

- 歩きやすい服装、靴、タオル、飲み物持参でご参加ください。